

今月のトピックス

- 1 インフルエンザが流行中です。
- 1 第 11 週では、インフルエンザ迅速診断キット結果の 8 割は B 型です。
- 1 流行性耳下腺炎の報告が例年より多い状態が続いています。

全数把握の対象

【3 月期に報告された全数把握疾患】

A 型肝炎	1 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	6 件
デング熱	2 件	ジアルジア症	1 件
レジオネラ症	3 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
アメーバ赤痢	6 件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 件
ウイルス性肝炎	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	13 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 件	水痘 (入院例に限る)	1 件
急性脳炎	2 件	梅毒	8 件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件	風しん	1 件

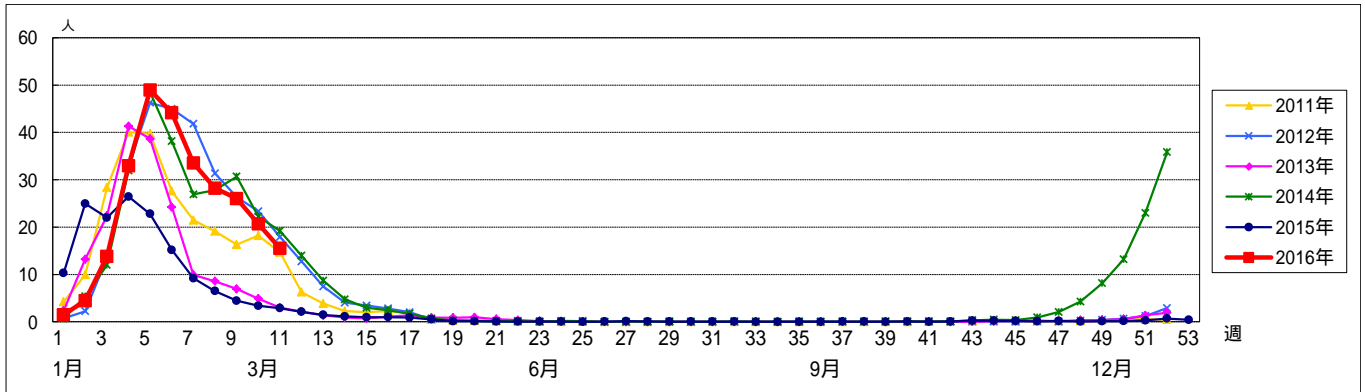
- 1 **A 型肝炎**: 1 件の報告があり、国内での経口感染が推定されています。
- 2 **デング熱**: 2 件の報告があり、海外 (どちらもインドネシア) での感染が推定されています。
- 3 **レジオネラ症**: 肺炎型 2 件、無症状病原体保有者 1 件の報告がありましたが、感染原因等不明でした。
- 4 **アメーバ赤痢**: 腸管アメーバ症 6 件の報告があり、1 件は同性間及び異性間性的接触による感染、もう 1 件は異性間性的接触による感染、さらにもう 1 件は海外 (タイ (バンコク)) での経口感染で、残る 3 件は感染経路不明でした。
- 5 **ウイルス性肝炎**: 1 件の C 型肝炎の報告があり、国内での異性間性的接触による感染が推定されています。
- 6 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**: 2 件の報告がありました。
- 7 **急性脳炎**: 2 件の幼児の報告がありました。1 件は迅速診断キットの結果でインフルエンザ B 型が検出されています。もう 1 件は病原体検索中です。
- 8 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 2 件の高齢者の報告があり、1 件は飛沫感染による感染、もう 1 件は感染経路等不明でした。
- 9 **後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)**: AIDS 3 件、無症状病原体保有者 2 件、その他 1 件の報告がありました。そのうち 2 件は国内での同性間性的接触、1 件は国内での異性間性的接触、もう 1 件は海外 (タイ) での異性間性的接触、さらにもう 1 件は海外 (タイ) でのタトゥーによる感染が推定されています。残る 1 件は感染経路等不明でした。
- 10 **ジアルジア症**: 1 件の報告がありましたが感染経路不明でした。
- 11 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**: 成人例 1 件の報告がありました。ワクチン接種歴は不明でした。
- 12 **侵襲性髄膜炎菌感染症**: 60 歳代の報告が 1 件ありました。感染経路は不明で、周囲に他の患者は確認されませんでした。
- 13 **侵襲性肺炎球菌感染症**: 成人例 12 件、幼児 1 件の報告がありました。成人例の 2 件でワクチン接種歴 (1 件は約半年前、もう 1 件は 3 年前) が確認できましたが、他はすべて確認できませんでした。
- 14 **水痘 (入院例に限る)**: 幼児の報告が 1 件あり、予防接種歴は確認できませんでした。
- 15 **梅毒**: 8 件の報告 (早期顕症梅毒 期 3 件、早期顕症梅毒 期 4 件、無症状病原体保有者 1 件) があり、うち 7 件が国内感染例で、残る 1 件は感染地域不明でした。感染経路では、すべて性的接触で、異性間 3 件、同性間 1 件、性別不明 4 件でした。
- 16 **風しん**: 10 歳代女性の臨床診断例の報告が 1 件ありました。ワクチン接種歴が 1 回ありました。

定点把握の対象

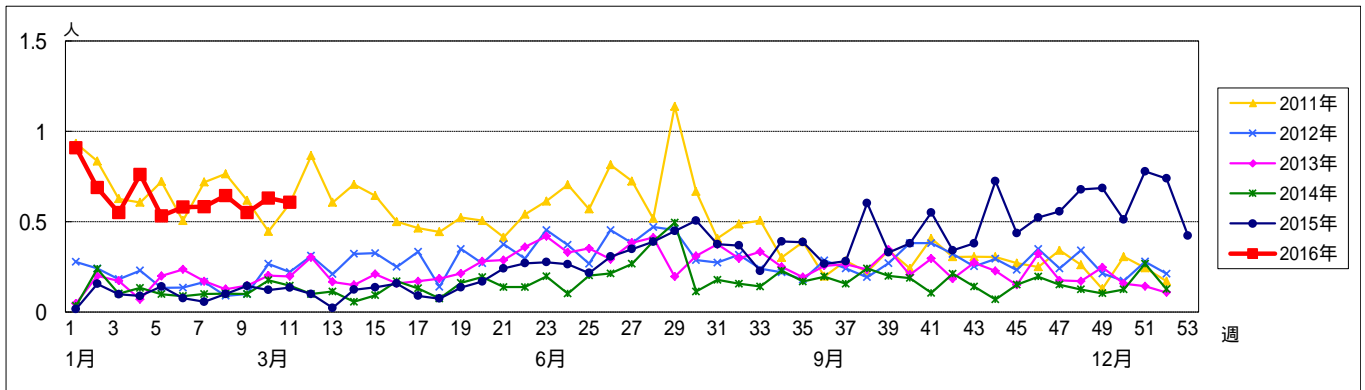
平成 28 年 週 - 月日対照表	
第 8 週	2 月 22 日 ~ 28 日
第 9 週	2 月 29 日 ~ 3 月 6 日
第 10 週	3 月 7 日 ~ 13 日
第 11 週	3 月 14 日 ~ 20 日

- 1 **インフルエンザ**:第 11 週(3 月 14 日 ~ 20 日)の定点あたりの患者報告数は、横浜市全体で 15.49 と減少傾向ですが、区別では 20.00 を上回っている区もあり、引き続き注意が必要です。医療機関における迅速診断キットの結果報告数では、第 11 週では全体の約 8 割が B 型です。市内で検出されたウイルスでは、B 型(山形系統)の割合が増加傾向です。今シーズンに入り、薬剤耐性遺伝子を検出したウイルス株が 2 株(AH1pdm09 型)検出されていますが、その後の周囲での耐性株の流行は確認されていません。横浜市衛生研究所で実施したワクチン株との抗原性解析では、解析した AH1pdm09 株、B 型(Victoria 系統)株、B 型(山形系統)株はすべてワクチン株と類似していました。今後もしばらくはインフルエンザの流行が継続すると考えられるため、手洗い等の感染予防や早期受診などの重症化予防対策が重要です。

参考:[感染症臨時情報「インフルエンザ」\(横浜市感染症情報センター\)](#)



- 2 **流行性耳下腺炎**:第 11 週は市全体で定点あたり 0.61 と、例年に比べて報告が多い状況が続いています。



- 3 **性感染症**:2 月は、性器クラミジア感染症は男性が 15 件、女性が 12 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 8 件、女性が 10 件です。尖圭コンジローマは男性 2 件、女性が 3 件でした。淋菌感染症は男性が 9 件、女性が 1 件でした。
- 4 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第 8 週 0.25、第 9 週 0.50、第 10 週 0.33、第 11 週 1.00 と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は第 8 週 0.75、第 9 週 0.50、第 10 週 0.00、第 11 週 1.00 と報告されています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 5 **基幹定点月報**:2 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 10 件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 1 件の報告がありました。薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>